

会 議 録

1 会議名	平成21年度 第6回河内自治会議
2 開催日時	平成21年11月19日(木) 午後2時00分～午後3時40分
3 開催場所	河内地域自治センター 2階会議室
4 出席者	<p>【委員】 中村祐司(会長), 山根登(副会長), 伊藤昭博, 大田原加久司, 菊地久美子, 小嶋由美子, 駒田静雄, 櫻井清一, 渋井トミ子, 五月女純, 手塚米子, 中西幸子, 永見幹夫, 西岡隆義, 福田義雄, 前野巖, 松谷悦広, 森本喜美子</p> <p>【事務局】 河内地域自治センター所長, 河内地域担当参与, 地域経営課長, ほか3名</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	【傍聴者】 なし
7 会議経過	(1) 開 会 (2) 地域のまちづくりに関する施策の提案についての回答 (3) 協議事項 ・地域のまちづくりに関する施策の提案について (4) その他 (5) 閉 会

1 開 会

事務局	<p>みなさん、こんにちは。ただいまから、平成21年度第6回宇都宮市河内自治会議を開会させていただきます。まず、委員の出欠につきまして、事務局からご報告いたします。本日は、清水委員、五月女勝正委員から欠席の連絡をいただいております。本日の会議の出席者数は18人で、委員数の過半数に達しておりますので、会議が成立することを報告いたします。</p> <p>それでは、お手元にお配りしております会議次第に基づきまして、進めさせていただきます。</p> <p>会議次第の2番になりますが、「地域のまちづくりに関する施策の提案についての回答」、こちらに移らせていただきます。</p>
-----	--

2 地域のまちづくりに関する施策の提案についての回答

事務局	<p>本日は、3月に河内自治会議から提案されました「地域のまちづくりに関する施策の提案」につきまして、市長からの回答がございます。</p> <p>後ほど、会長にお渡しいたしますが、その前に、おさらいといたしまして、前回の提案の概要について、ご説明したいと思います。</p> <p>本日、お手元に提案いたしました提案書の冊子がございますので、そちらをご覧になっていただきたいと思います。</p> <p>(提案書の概要について事務局説明)</p> <p>それでは、この提案に対しての回答書を市長に代わりまして、自治振興部地域自治制度担当参事から会長にお渡しいたします。</p>
地域自治制度担当参事	<p>平成21年3月25日付でご提出のありました「地域のまちづくりに関する施策の提案」につきまして、本書のとおりご回答申し上げます。</p> <p>自治会議におきまして、2年に渡りましてご審議いただきまして、貴重な提案だと受け止めております。これからのまちづくりに、地域の皆さんが自主的にやっていくことにつきまして、市としても、一生懸命ご支援申し上げたいと思います。</p> <p>さらに市としても、みなさんと地域のまちづくりを一緒になって取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>今回もこれから1年半ございますが、どうか、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>委員のみなさまには、回答書の写しを今からお配りさせていただきたいと思っておりますので、後ほどご覧になっていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、この後の進行につきましては、会長にお願いしたいと思いますので、よろしく願います。</p>
会長	<p>みなさん、こんにちは。自治会議発足後、2年間の成果である我々の提案につきまして、回答をいただきました。委員のみなさま方の中には、今年3年目再び委員としてという方もおられますし、今年4月からという方もいらっしゃいます。新しく委員になられた方には、ご説明させていただきましたが、なにぶん初めてですので、回答をいただくということは想定していませんでした。</p> <p>自治会議の提案に対して、市として重く静粛に受け止めたということにして、個人的にはすごいことだと思いますし、再来年の3月を目指して、各部会から報告をいただきますが、弾みになると考えております。</p>

3 協議事項

(1) 地域のまちづくりに関する施策の提案について

会長	<p>それでは、協議事項に入りたいと思いますが、その前に、9月25日に福島市松川町に視察に行きました。全員というわけにはいきませんでした。いろいろ見てきました。先日の13日に合同報告会が開かれまして、全員の委員の方が参加というわけにはご都合が合いませんでしたが、大変刺激になりました。</p> <p>我々の自治会議としては、福田委員が熱のこもったご報告をしていただきま</p>
----	--

した。

いよいよ今日から、再来年の3月まで、地域のまちづくりに関する施策の提案につきまして本格的にスタートすることになりますので、議論していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。今日の各部会に分かれた資料を事前に読ませていただきましたが、気持ちと制度が体系化され、具体性がもり込まれた各部会の真剣な話し合いがなされており、頭が下がる思いがいたします。

本日は、各部会の方々の報告を他の部会の方々も認識していただいて、是非、共通理解をしていただいて、遠慮なく意見をいただきたいと思っております。このことが、本日のメインと考えております。早速ですが、各部会からの報告をお願いいたします。最初に生活環境検討部会からお願いいたします。

生活環境
検討部会
長

生活環境検討部会は7名で、第1回の部会を6月19日に開催し、月1回の会議を進めております。10月までに5回ほど会議を開いております。

生活環境検討部会の委員ですが、前回からの引き続きの委員の方々と、新たに平成21年度から委員となった方々の部会です。生活環境検討部会において、前回までにどのようなことが検討されていたのか、ということから始めました。

前回までは、交通安全・防犯関係、高齢者福祉、環境、岡本駅周辺の整備、コンパクトシティと5つの大きな項目で検討しておりました。交通安全・防犯関係、高齢者福祉、環境等につきましては、活動内容についてはいろいろあろうと、河内地区まちづくり協議会があるので、そちらの機関にかけたらと、されております。岡本駅周辺については、市長からの合併市町村基本計画の諮問について答申すべきで、そういう中で検討すべきですし、コンパクトシティについても、協議しようというのが前年までの委員による協議の内容でした。

今年は、それらを踏まえたうえで、どのようなことを検討しようか。具体的に今一番問題になるのは、自動車を利用していない人の交通の足の確保です。高齢者、自動車をお持ちでない方々の交通の確保をどうしたらよいか、先ず、検討を始めたわけです。前にも高齢者福祉の交通弱者の足の確保ということで、検討してきたわけですが、これを具体的に検討してみようということです。

市の高齢者外出支援事業ということで、バスカードの購入補助がありますので、もう少し利用されやすい方法がないのでしょうか。この地域においては、バス路線についてはいろいろ問題がありますので、バスだけでなくタクシーも利用できるようにできないものなのでしょうか。必要なときにタクシーで行くということで、年1回5千円のバスカードが千円で購入できるという補助なので、タクシーにも利用できるように方法を検討してはどうでしょうか。この点について、行政にお願いできないかどうかということを検討しています。今後、まちづくり協議会の中で、是非、そういう話となれば、提案の柱の1つにしてきたいと考えております。

現在のバスの利用状況、バス路線とかいろいろありますが、公共交通機関の利用の増進を図るべきではないでしょうか。公共交通機関の利用の増進・促進ということで、検討を始めています。公共交通機関の1つとして鉄道の利用、バスの利用と2つになろうかと思っております。鉄道で岡本駅を利用となりますと、徒歩での駅の利用範囲は2キロの範囲ですが、自転車ですと4キロ範囲でしょ

う。駅を利用するのは、白沢街道から東側の地域になるのかなと思います。田原地区が利用してもらえれば、駅にパークアンドライド方式の駐車場が必要ではないでしょうか。駅の周辺整備、区画整理になりますが、その中でパークアンドライド方式の駐車場を設置できれば、鉄道利用の促進につながるのではないのでしょうか。

鉄道利用の中で、新幹線との接続、新幹線の最終電車が宇都宮からの下りの普通電車に接続していません。宇都宮に新幹線の最終電車で着いても、岡本地区には電車で帰ってこられません。新幹線の最終電車に接続する下りの普通電車がないので、増発してもらいたいです。11時45分ごろ宇都宮に着く宇都宮止まりの下りの電車を、氏家まで延伸してもらえば、最終の新幹線を利用して氏家まで来ることができます。

なぜ氏家かという、上河内の地区の方々が氏家の駅を利用していますので、宇都宮駅に迎えに行くよりも、氏家駅に迎えに行くほうが、時間的に近いですし、便利だからです。このようなことから、氏家まで延伸されることを検討されてはどうでしょうか。

バスの利用については、この地域では、3つの会社の路線があります。東野バス、関東バス、宇都宮市代替バスユッピー号が、河内地区で走っています。ほとんど宇都宮に向かったルートになっています。国道4号線から宇都宮へ、田原街道、白沢街道から宇都宮に向かって走っています。東西、例えば田原と岡本地区の連携がありません。これらを結ぶルートが考えられるのではないのでしょうか。これらを検討する際には、2つの民間のバス会社の経費等において、ルート変更とか延伸とかは難しいと思いますが、それを超越していかないとならないでしょう。

利用者が利便のある方法で検討すべきではないでしょうかという考えからです。横に連携するバスも必要だと考えますと、バスの乗り換えのためのターミナルも検討する必要があります。今後、考え方として持っていなければならないでしょう。ルートの延伸とか変更とか具体的なことは、例題としてあげているだけです。

例えば、岡本駅を通過して和久に来るバスは、旧道を通ってしまして、道路が整備されたり、住宅の配置等が変わっていますので、わざわざ旧道を通らなくても、岡本小学校から岡本街道を通過して和久で止めるのではなく、白沢街道まで延ばせば、白沢の方々も岡本の駅に来るのに利便性があるのではないのでしょうか。岡本の駅から西に入って、岡本台病院に止まっているバスを、できれば図書館を經由、自治センターを經由して、総合運動公園までもってくるという方法も1つの検討の課題かなと思います。いろいろなバスルートの変更は、道路整備により変わってきていますが、利便性を考えるようなルートの再検討をしていただきたいです。

宇都宮駅東口から、宇都宮大学を通過して、ベルモールを經由して、平出の営業所までバスが来ていますが、それらを岡本の駅まで延伸できれば利便性が良くなり、岡本から宇都宮大学方面に真直ぐ行けるのではないのでしょうか。これは例としてですが、バスルートの変更、延伸、または新たなルートの新設とい

	<p>うのが、検討されるべきであろうと思います。</p> <p>もう1つは、東西の連絡がないという声ですが、河内地区には団地形成がいろいろありますので、その中を経由して、公共施設、病院施設、サービス施設、ショッピングができるような循環バスを走らせたらどうでしょうか。新たに循環バスを創設することで、地域の交通の利便性に利用できるのではないのでしょうか。例えば、お年寄りが買物に行くにも、循環していれば、ショッピング後回ってきたバスで、病院に行って治療して、そのように回って行けるのではないのでしょうか。そのような形で検討しております。今日の資料の中に、地域別のどのようなものがあるのか記載してあります。提案として、バスの高齢者外出支援事業、公共交通機関の利活用として、鉄道の利活用、バスの利活用ということで検討しています。委員のみなさまからいろいろな助言をいただいて、これから更につめていき、提案していきたいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>きわめて具体的に、生活環境の中のバス路線について述べていただきました。それでは、ただ今の説明について、質問でも意見でも結構ですので、みなさま方ございますでしょうか。</p> <p>いろいろな意見を言っていて、共通の理解をしていきたく思っております。部会の中の方でも、部会外の方でも結構です。</p> <p>このあたりは大切なことで、私も普段無関心で、宇都宮の最寄の駅で事済んでしまっています。手書きの表で、具体的なこの地点を抽出しています。</p> <p>いかがでしょうか。何かご質問ございませんか。</p> <p>それでは、他の部会の報告をしてもらってから、戻っても結構ですので、部会からの報告を進めさせていただきます。それでは、スポーツ・教育・文化検討部会から報告をお願いします。</p>
<p>ス ポ ー ツ・教育・ 文化 検 討 部会長</p>	<p>スポーツ・教育・文化検討部会から報告いたします。メンバーは6名です。既に4回部会を開催いたしました。時間が2年間あるということで、本質論から初めようとして、具体的な課題はいろいろありすぎるようですが、先ず本質から攻めてみようということで、スポーツ・教育・文化も、昔から言われているように文武両道、健全な体に健全な心が宿るということで、一緒に考えなければいけないことだということで、その内容、今の実態をみんなで協議している最中です。</p> <p>その中で、宇都宮市の宮っこ未来ビジョンとか教育のプランがたくさんあり、教育にしても、文化にしても、スポーツにしても、目標を持っているプランニングがあります。いろいろな組織ができていますが、連携して動いているかという、同じ教育委員会にあっても課が違くと違う取り組みをしています。連携が少ないということが見えてきていますので、先ずは、宮っこ未来ビジョンを勉強しようというのが、今回4回目の活動の打合せです。それを勉強しながら、宇都宮市が取り組んでいる施策が、縦糸、横糸がどうつながっているのかを理解して、その方針に基づいて、この河内地区としてどんな提案ができるのか、落とし込んでいきたいというのが、今の取り組みの最中でございます。</p> <p>市のホームページを見ていて、いろいろ資料を出してきても、だんだん頭の</p>

中がくもの巣になってきそうでありまして、そのうえに県のことまで入れてしまうと、めちゃくちゃですから、県のことはほっといて、先ず市でやっていることについての勉強をしているところです。

部会の中で整理できてきたら、担当者のところに行って勉強してきたいです。教育委員会が、縦割り横割りを含めて、どのように動いているのか教えていただきたいと考えています。特に教育につきましては、幼少から高齢者までが4段階に別れて、それぞれの段階でたくさんの施策が動いています。そういうものの中でも、課題がいろいろあります。生涯学習にしても課題はたくさんあります。そのようなことを見定めてポイントを捕まえていかないと、難しいと思います。

行政としては、部が違い、課が違い、それぞれの存在価値のため動きますが、受ける住民は一人ですから、我々が全部を知らないと訳がわからないで受けるということになりかねないです。ということになっていますので、我々部会6名は、大いに勉強して、この自治会議にこういう提案はどうですかと、来年の早い時期に方向性だけでも打ち出せればと思っています。

第4回目のところに、宮っこ未来ビジョンを勉強しよう今日は、自治センターの方をお願いをして、抜粋を40ページほどコピーしていただいて、我々部会員が持って、動き始めようとしています。この辺のところをやっていくには、しばらく時間がかかりますので、我々の部会は毎月1回とは言わないで、適宜みなさんの頃合を見計らって、何回やるかということよりも、まとめるためにどれだけやるかという方向でいきたいと思います。概要そのようなところで動いているところでございます。

後は、まちづくり協議会とも、全体の動きとして、重要な位置を占めていると思いますので、我々の提案も、まちづくり協議会の支援になるようなものもあるのかなと思ひまして、行政の中で箱物とかいろいろな事をやってくれということもありますが、住民にわかりやすい行政をお願いするということも、すごくいいのかなと思います。パンフレットとかいろいろありますが、完結にわかりやすいものは少ないです。総合的に概要がとらえづらいです。ホームページを見ても、切実に感じるころであります。総合的な提案をさせていただきたいと思います。

会 長

ありがとうございました。

全体の宇都宮市をじっくり勉強するために、全体を見据えた議論と資料収集と考察を行っていききたいということが主流だと思います。みなさま方、いかがでございましょうか。

まちづくり協議会と河内自治会議と両方に関わっている方がおられますが、どうやって連携を図っていくかが大切なことです。我々河内自治会議は、10年間と期限を区切ってありますので、10年限りでももなく3年経ちますが、市の正式な附属機関として、合併市町村基本計画について答申したり、2年に一度、地域のまちづくりに関する施策の提案について、自治会議として提言していきます。片やまちづくり協議会として、今のところは任意団体として39地区で動いています。長い目で見れば、そこへどのようにつないでいくかとい

	<p>う側面もあります。</p> <p>それでは、部会の報告に集中していただいて、部会ごとに分けなくて、後でみなさま方から質問等を受けたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、自然・農業検討部会からお願いします。</p>
<p>自然・農業 検討部会 長</p>	<p>自然・農業検討部会から発表いたします。5名の委員からなっております。</p> <p>最初の6月4日に、部会の進め方や今後の検討課題について話し合いを持ちました。</p> <p>7月3日に自然と農業に関する勉強会を持ちました。農協さんの考えや、市の産業課の担当者の話も聞いてみたいということでお願いしました。当日、農協の方の都合が悪くて出席できなくて、産業課の課長さんと係長さんから、市の農業関係の資料等をいただきまして、説明をしてもらいました。この地域の農業の実態、今後の農業の振興策等についての話し合いをする予定でしたが、予定の半分くらいで終わってしまいました。農業振興策のほうまでは行かずに、農業の実態について勉強をする機会を持ちました。</p> <p>9月8日に、この地域の自然をどう活かすかについて話し合いを持ちました。</p> <p>11月6日に、自然の保全と活用ということで、この地域で行われている自然の保護活動とか、美化活動等についての実践なども話し合いをしました。</p> <p>この後、2月5日に今年4回目の部会を持ちまして、この地域の農業の現状と課題ということで話し合いを持ちたいと思います。</p> <p>更に来年度に入りまして、更に2回ほど農業の現状と課題について話し合いを持ち、その後、自然と農業を合わせた問題について2回ほど話し合いを持ちまして、委員の提案等をまとめ、12月くらいに部会の全体的な提案をまとめていきたいと考えております。</p> <p>今日の発表は、9月8日に行われた内容ですが、テーマとしては、この地区の自然をどう活かすかということで、いろいろな意見が出てきております。全体は会議録として出してありますので、今日は、自然の問題についてのみを選んで説明したいと思います。</p> <p>先ずは、河内地区には、日本の里100選に選ばれた、西下ヶ橋自然環境保護地区、白沢公園、西鬼怒川、鬼怒川の堤防にある桜つつみ、県の施設ではありますがグリーンパーク白沢など、緑と水に恵まれた豊かな自然がありますが、果たして、河内地区の住民や宇都宮市の住民に十分に知られているのかということで、みなさんに知ってもらえるような方策はないものかと、いくつかの意見が出ております。</p> <p>その一つは、ツアーコースめぐりなどを企画してみてもどうかというものです。これを一過性に終わらせなくて、季節ごとにツアーを企画して、散策コースとか、歴史や文化遺産をめぐるコースを、バスツアーでやってみてもどうかという意見です。</p> <p>2つ目は、河内地区では農水省の推進事業である「農地水環境保全向上対策事業」に取り組んでいますが、13ほど活動に取り組んでいる地区があります。また、生態系の保全とか農村の景観づくり、農村の環境を良くする活動などが</p>

行われています。NPO法人のグランドワーク西鬼怒では、田んぼの学校、生き物の調査、自然観察会を行っていますが、ややもすると仲間意識が強くて、なかなか市全体の活動には広がっていないのではないかと、というような意見です。もう少し全体的にPRをして、他の地域をも巻き込んだ協働活動にできないものだろうかという意見でした。

3つ目には、この地域の自然を活用するには、自然だけを宣伝しても、自主性が期待できない。まちづくりと並行して取り組んでいくことが必要ではないでしょうか。自然散策とか、参勤交代の宿場町として栄えた白沢宿の景観、文化的・歴史的なものを含めたツアーコースなどを計画してみてはどうか、というものでした。

4つ目としては、河内消費者友の会では、地区の小学校で水と環境についての講話会を持つ機会があり、豊かな農産物や水環境の話やエコ石けんなどを取り上げて、旧五街道やこの地域に多い湧水、彫刻屋台なども話題にしていきたいという話がありました。地域の地理や自然や文化遺産を、地域の将来を支える子ども達に伝えることは大切なことなので、是非とも、このような機会を多く作って欲しいです。行政側にも希望する意見であると思います。

5つ目としては、手作りエコ石けんについても、まだ無関心な人が多いです。手は荒れないし、アトピー症にも問題はないし、環境も汚染せず、汚れも良く落ちます。こういった活動を多くの人に知ってもらうことと、PR活動が足りないのではないのでしょうか。市の広報などにも出して、PRしていただければありがたいです。

6つ目としては、食育の話も出ましたが、農業との関係で話し合う機会がありますので、話が煮詰まっておきませんので、今回は割愛させていただきます。

最後にグリーンツーリズムについてですが、都市住民が、農村の民家とかキャンプ場などに滞在して、自然の中で遊んだり、農業や食品加工や伝統芸能などを体験して、人々との交流を楽しむ余暇活動というように考えられていますが、これも部会では検討されておきませんので、今回は省略させていただきます。

今後、農業関係の問題を担当する方々に、是非、参加していただいて、検討課題を上げていきたいと思っております。以上でございます。

会 長

はい、ありがとうございました。

非常に精力的に検討していただいておりますし、ここに書き込んでくださったこと以外にも、いろいろあるということもわかりました。各部会のいい意味での個性が出ていると思います。

生活環境検討部会では、今現在のところ一点特化主義といいますか、バスのことを軸に置きながら、きわめてそれを掘り下げて、そこから河内のことを考えていこうということです。

スポーツ・教育・文化検討部会は、先ずは大きく、市の全体を勉強材料として見渡して、そこの課題を押さえたうえで、河内の部分に入っていきたいという大きな試みです。生活環境検討部会は具体的なミクロの部分で、一つ特化していることに対して、スポーツ・教育・文化検討部会のスタンスは逆で、大き

	<p>な転換で見えています。自然・農業検討部会は、具体的に個々のことをあげているので、生活環境検討部会と同じようなスタンスかと思いますが、そうではなくて、ここのミクロの部分で、非常に複数たくさんあげて掲載して、出してみようとしています。いずれの部会もすばらしいと思います。みなさま方、意見なり、質問なり、何でも結構ですので、何かございませんか。</p> <p>部会については、これでいいと思います。順番にやると縛ってしまいますので、関連のところもありますので、行ったり来たりするかと思います。是非、自信を持ってやっていただきたいと思います。</p> <p>スポーツ・教育・文化検討部会のところで確認したいところは、今、勉強を仕入れているところだとお話がありましたが、直接インタビューを聞きに行くことは、その高揚力はすばらしいと思いますが、その場合、事務局の方で資料を取り寄せてもらうのがいいでしょうか。直接行くのがけしからんということではありませんが、事務局の立場はどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>今、会長さんがおっしゃるように、先ず、必要な資料があれば事務局で用意させていただいて、そのうえでどうしてもとなれば、私どもが間に入りまして、打合せをしたいと思います。先ずは事務局に、こんな資料が欲しいと言っただけであればありがたいと考えております。</p>
会長	<p>資料の量も縦割りということで、個別にあるのでしょから、事務局を通して注文する分にはかまいませんし、取り寄せてもらって、それを部会の勉強材料として、更に、課題を明確にしていくというやり方があると思います。</p> <p>宇都宮市全体での問題は、河内に与える影響が大きくて、宇都宮市全体の課題がそのまま河内に来るという側面もあるかと思いますが、こちらの事務局で資料を取り寄せてもらって、そこから河内地区において、どういう具体的な問題が生じているかということから出発する手も、最終的には河内発という形で、牽引するということになります。</p> <p>当然、関連のところでは触れることはあるかもしれませんが、最終的な目指し方では、宇都宮市全体に対する改革の提言ということではないということです。河内モデルを追及することです。そのところを、報告内容で伺いましたのでよろしくお願いします。</p>
スポーツ・教育・文化検討部会長	<p>ホームページをいろいろ見ていると、どうしても、どう流れているのかぜんぜん見えません。その中でこの資料を欲しいということよりも、この分野について市全体で、あの課がやり、教育委員会がやり、これだけの幅でこれだけのものをやっていますというものを、そろえてもらいたいと思っています。我々の方から、この資料をくださいといっても散文的なものしかありません。</p> <p>ホームページでかなり検索してみましたが、かなりごちゃごちゃになっています。その辺のところでは、この施策とこの施策が、どのような関係であるのかがわかる資料を揃えていただくことを、自治センターでやっていただきたいと思っています。</p>
会長	<p>それを部会で作るということですね。</p>
スポーツ・教育・	<p>それで全体の流れと、活動がでてきたときに、この地域では何ができるのか、ということに持っていきたいということです。</p>

文化検討 部会長	<p>実際にここに生涯学習センターもありますし、まちづくり協議会もありますし、自治会もありますし、そういうところが、一本化して動いていかなければならないということはあるではありませんか。</p> <p>この会というのが、その代表者が集まっている会ではないですか、そのところで、どうやったらこの地区が良くなるのでしょうか。</p> <p>自治会の活力が落ちているので、自治会の活力をどうやったら上げていけるのでしょうか。PTAも落ちています。子ども会も弱っていますし、敬老会もそうです。今まであるものを再起させていって、活力を上げるための施策に持っていかなければなりません。</p> <p>新しい施策がどんどん出てきても、一本筋が通った施策があつて、長く地域を発展させるものに我々が引き継いでいかなければ、散文的な提案にしかならないと思っています。</p>
会 長	<p>私も同感です。おっしゃるとおりだと思います。ただ一点確認しておきたいのは、規模としてはわれわれの河内地区は一地区にすぎませんが、今のご発言は先見性のあるもので、今、市ができていないことの鋭い指摘だと思います。つなぎの部分とか、連携の部分とか全体の部分とか。そういうものを、個々の事務局を通じて得た断片的な資料から、部会の中でつないでいただいて、こういうものやってくれということはいいいと思いますが、つないだものを出せということは、担当のところは厳しいと思います。是非、個々の資料を吸収していただいて、目の前のことで手いっぱい、本庁ではやっていません。それを部会でこそ、つなげていただいて、こうすることがいいことだと思います。</p>
ス ポ ー ツ・教育・ 文化検討 部会長	<p>そういうことだと思ひまして、宮っこ未来ビジョンから始めています。そういう中から、一番我々として、地域が発信できるようなものを、いくつか具体的な案をみなさん持っているのですが、そこへ早く行くよりは、それをみんなが共通の認識をしていきたいです。</p> <p>共通の認識は、部会の認識ではないはずなので、部会があるということは、自治会議のみなさんが認識を一つにして提案をまとめていくためには、どういふお話をもっと出していくかということです。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>我々自治会議も、進化しているということだと思います。私はむしろ止めるつもりもなく、最初のときはその逆のことを懸念して、河内のことばかり内向きになって、実態を見てくださいよという形で、最終的には2年間の半ばくらいからみなさんどんどんできてきて、河内モデル発で宇都宮市全体のモデルになるような、河内だけのことでなくて、全体のことについてもつながるようなことを言っていきましょう。今、まさにスポーツ・教育・文化検討部会長の発想のスタートというのは、先ず全体を見ようということですから、非常に3年目にしてそれがすばらしい討論で、最終的には、河内発というところで、進めていただければと思います。ありがとうございました。いかがでしょうか、みなさま。はい、どうぞ。</p>
委 員	<p>本日、各専門部会からの中間報告がありまして、先ほどのスポーツ・教育・文化検討部会長の発言、まったく共感でありまして、私も自然・農業検討部会</p>

に入っておりますが、この種に関しても、あちこちでそれぞれの団体が独自の活動を展開しております、非常に情報が多すぎて、どう取りまとめていけば、市として一本化できるのか、疑問に思っています。

情報が乱立して、まさしくそれぞれの団体が群雄割拠の形で、独自に進んでいますので、市としてどのようにリードし、取りまとめて中心的になって進めているのかが見えない点があります。

私共の自然農業の関係についても、自然・農業検討部会長が勉強会をやるということでスタートし、農協の役員の方もよんで、基本的な勉強をしましょうよという形でスタートし喜んでいたのですが、忙しくて担当の方がみえないまま今日に至っています。私なども農業関係に対しては関心が高いのですが、実務的には経験がないものですから、その方面を勉強中ということですが、自然・農業検討部会についても、冒頭、自然・農業検討部会長が言われたように、専門的な方が入ってくるとありがたいということを申し上げたのですが、まさしく、そのとおりなのです。私もまったく知らない知識で発言しているのは、問題があるというのが多いわけですが。

我々が部会で取りまとめ、発表した事柄については、あくまでも、全員参加のまちづくり部会の中で、お互いが議論して、河内としての取りまとめの意見として持っていかなければならないのかと思うわけです。まだ、発表は中間報告ですから、具体的な意見はございませんが、例えば一番先に発表されました地域の交通関係の再整備、これは我々にとっては共通する将来の課題であります。ただ報告だけだったので、これからもっとつめる必要があるわけですから、我々も参画しなくてはならないと思っております。

先般、市で取ったアンケートがございます。あの辺の集約が今後どういうふうに結ばれていくのか、ということに興味があるところです。そして、合わせて、共通の課題としては、これこそが生活環境検討部会だけの意見ではなく、全体としてのまちづくり部会として、まとめていかなければいけないのかなと痛切に思います。

もう一つリンクしなくてはいけないのは、既に存続しております河内のまちづくり協議会がございます。これとの連携はどうなのか。まったく別個に動いていて、果たしてパンチの効いた具申ができるのか。ちょっとそれは思います。ですから似た様な組織は、相計りながら、まとめて、更にこれを具体的に市のほうへ持っていくというふうにステップを上げていかなければ、弱い結果になってしまうのかなと思います。そんなことで、非常に多くの団体がありながら、まとまらない、すじが見えないことと、今後のまちづくり協議会については、もっともっと活発な意見交換をしなければいけないのかなと痛切に思います。今日お聞きしたことの感想になってしまいましたが、そんなことで、これからも望んでいきたいと思っております。

会 長

はい、ありがとうございます。

他に、いかがでございましょうか。

非常に総合的というか、個々の問題でも結構です。具体的な細かい課題でも、いかがでしょうか。はい、どうぞ。

<p>委員</p>	<p>参考になるかはわかりませんが、河内地区の任意団体であります、まちづくり協議会、あるいは宇都宮市のまちづくり組織連絡会等で取り上げられておりますところの問題について、ご報告を兼ねて現状を説明していきたいと思いません。</p> <p>宇都宮西地区におきまして、昨年から1年かけて地域ビジョンの策定という事業を行っております。内容については、先ほど、自然・農業検討部会から説明のありましたツアーコースを企画していくという問題です。こういうふうなことを、地区全体が活動に参加をして、小学生からPTA、地域の活動家、あるいは、まちづくり協議会、推進協議会などのところで、その地区の状況を把握するという段階で、10年後を目途に、西地区がどのような形が望ましいか、というようなことをやっております、そのことにつきまして、先ごろ我がまちづくり協議会も勉強会としての事業として、その説明を受けてまいりました。</p> <p>そして、来る12月14日には、姿川地区の同じような活動について、説明なり学習をしてきようという計画がございます。今年度につきましては、宇都宮市のみんなでまちづくり課で指導されて、このビジョン策定を希望する地区を募ったのですが、残念ながら河内地区は、取り組む力が足りないということで、今年度につきましては、ご遠慮申し上げました。</p> <p>しかし、今、先ほど言われました河内地区のいろいろな環境とかの問題を調査していくマップ作りを、必ずやっていかなければならないということは、我々が願いとして持っているところです。私は河内まちづくり協議会の責任者であります、また違う所にふつふつと火が燃え上がっているのだと感じまして、非常に嬉しい気持ちでございます。それから、スポーツ・教育・文化検討部会さんで、まちづくり協議会にどのような協力ができるのかというご意見がありました、これもありがたいことだと思っております。</p> <p>今の河内地区のまちづくり協議会は、28団体程度しか入っておりませんが、あまた団体がおられまして、いまだ未加入で、活動していただきたい団体は、教育関係の人たちで、PTA、学校の先生、そういう人たちがまちづくり協議会に入ってこられることによって、子どもを取り込んで大人と一緒に活動していくことが非常に大事なことです。先ほど報告しました西地区では、PTA関係が非常に活発に活動しておりますので、子どもの若い力も得られますし、それに関わる若いお父さんお母さんの元気ももらえるということで、一生懸命に今やっているところです。そのようなことをご報告がてら申し上げます。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうもありがとうございました。</p> <p>まちづくり協議会を見ながらということは、常に意識しながら、今のよう貴重な情報をいただきながら、我々の活動を進めていきたいと思いません。</p> <p>39地区の中で、まちづくり協議会もあり、自治会議があるのは、ここと上河内の2ヶ所だけですので、課題も多いと思いますが、それを力にして、河内を良くしようという思いには変わりがないと思いませんので、我々から知恵を出していきたいと思いません。ありがとうございました。</p> <p>どうぞ、具体的な部会の報告事項でも結構ですので、今までのところ全体的な大枠の話をしていただきました。</p>

	いかがでしょうか。
委員	<p>私もまちづくり協議会の一員となっておりますが、実際に会議に出られるのが限られてしまい、ほとんど参加できない状況です。会議の報告書をいただいておりますが、まち全体の多くの方で、1つのことをやり遂げていくのはとても難しいと多くの団体に所属して感じます。大勢で何かを作りあげるといよりは、ある程度限られたメンバーで作り上げていくものを、サポートしていく形が一番やりやすく、成り立っていくのではないのかなという気がします。</p> <p>自治会議もその核になって、ここでいろいろな問題点を見つけていって、いいまちづくりをしていくためには、どういうメンバーが必要かという見方をしていけば、よいのではないかと感じています。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。</p> <p>もう少し時間もありますので、ご意見をいただきたいと思います。各部会のことについての確認でも結構ですので、具体的なことがペーパーから出ております。非常にいい形で進んでおりますので、再来年の3月という、確かに先のようなのですが、その間にまた合併市町村基本計画の答申が入りますから、決してあせらせるつもりではありませんが、実質的には、それに集中する時期がございますので、やはり真正面からできる時間はあまりたくさんあるわけではありません。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>自然・農業検討部会で、グランドワーク西鬼怒が低調だと書いてありましたが、私が今まで受けてきた印象では、盛況で立派にやっているという感じでしたが、この辺はどうなのですか。本当に低調でPRが乏しかったのですか。どうなのですか。</p>
会長	<p>資料の意見3のところのグランドワーク西鬼怒のところですね。</p>
委員	<p>確かにグランドワーク西鬼怒のところでは陶芸がありまして、今年の文化祭では、陶芸部の方で20名ほど参加されていましたが、今年は参加されていなかったもので、何かあったのかなと思ったので、実際、どうなのかなと思いお伺いします。</p>
自然・農業 検討部 会長	<p>それでは今の問題ですが、私は西鬼怒の会には7年ぐらい入っていますが、会員数は100名程度います。いろいろな行事を行っており、10年経ちますので、増えてきてもいいのですが、逆に減ってきている状況が見られます。</p> <p>3年前の方が参加人数が多かったです。このところ参加人数が少ないです。灯籠流しにしても、その他の事業にしても減ってきています。いろいろな意見が出てくるのですが、一部には、かたまりすぎていて、その会に入りづらいという意見も聞かれています。毎年会員募集を大々的にやっていけば違うと思いますが、今までの古い人がいることが大事なことなのですが、私の感じとしてはそういうところで、そのような経緯が出てきたということで、それは意識の問題かもしれませんが、そういうようなところで、このような文章になっているのです。やっていることはとても熱心です。草刈りとかやっていますが、もっとそれらが輪となって広がっていけばいいのになと、残念に思っております。</p>
会長	<p>答えは、どこを見るか、いろんな人の受け止め方ですが、今のご指摘とかい</p>

ろいろなやり取りは重要だと思います。やはり、ほんのちょっと疑問に思ったり、自分は違う見方をしているとか、どんどん指摘していただきたいと思います。今後検討するのに、部会にとってもありがたいと思います。

いかがでございましょうか。はい、どうぞ。

委員

生活環境検討部会の交通のことは、すごく重要なことだと思います。その中で、是非、医療施設が河内のどこにあるのか、どのような医者が何処にいるのかとか、買物施設が何処にあって、行けない人は車がなくて、高齢の人で、その人たちの生活圏の中での足というものを考えていただけると、すごく違ってくると思います。

特に奈坪通りなどは、現在、医者通りとなってしまっています。あの辺のところは、お客がたくさん来るから採算が合うので、医者が来ていますが、我々にしてみると、点在していたほうが、行きやすいということです。

自然環境から言うと、昔の里山の場合は、下草を刈って落ち葉を拾って肥料にしたりとか、中に入り込めたのですが、ここに来る間でも、杉林でうっそうと雑草が生い茂っていて、中に入れません。こういうところにこそ、我々が払っている緑の県税を活用して、地主に了解を得て、下草を刈って、自由に遊ばしてもらおうようにすれば、遊び回れる場所ができるのではないのでしょうか。森林の税金は、そのようなことに使えないのでしょうか。

自然環境であるとか、交通の便も含めて、我々の住環境は、やはり買物の便と病院の便ですよね。後は、通学のことがありますが。今回の答申は終わってしまいましたが、LRTも棚上げになっておりますが、東西をやるとすれば、十文字でいけば東北線を利用して、岡本駅から雀宮駅が縦横の軸になるので、駅前の開発をもうそろそろ見直したらどうでしょうか。十年も前のものをそのままやるのではなくて、駐車場を国立病院のところの敷地に大きく作って、まっすぐメイン道路を駅までつないで、西口を作るというような提案をしてもいいと思います。

今回の提案の中で、勉強してみたら、自治会議とは大変重い会議で、最初の方の中身には、そういうことをどんどん出せと書いてありますが、ちょっと読んでみると、自治会議についてという書類と、現在の地域自治会議とは内容が違うのです。地域自治会議と、地域自治制度とは違うのです。地域自治制度とは本来の制度であり、そこには市長の答申ということは入っていません。地域自治会議条例では、市長の諮問に応じて次のことを行うことと、こう限定されてしまうと、市長が諮問しないと検討する権限がないというように取りかねないです。何でこんな制約がついているのか憤っています。その辺のところをはずすと、合併のときに約束したことも、変化してきているのであれば、変化に応じたことを、きちんと提案していけるのではないのでしょうか。

そういうことを全面的に盛り込んでいかないと、今やって、約束したことが順調に進んでいますよでは、だめだなという気がしますので、配っていただいた書類を出して見たら、だいぶ違うことが書いてあるので、そういうことを含めて、今やることは、まちづくりに関する施策の提案これしかないなということで、ここでやっているのですが、そのへんのところを含めて取り組んでいく

	<p>ことが必要だと思えます。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>確か、条例設置で、縛られているのもあれば、柔軟な部分もあります。合併関連の法律でもっての組織ではないということです。合併市町村基本計画に関わることにしても、提言で言ってもらっても結構ですし、答申についても、あくまでも守りの姿勢ではないということです。状況の変化というものを見据えたうえで答申ということもあると思えますので、是非、追求してもらえたらと思えます。部会に属していない方が、担当の部会のことについて、どんどん言って欲しいです。そのためにまちづくり部会がありますし、この場でも結構です。</p> <p>なかなかこれだけの部会を積み重ねてくださるだけでもすごいと思えますし、これから質的にも、量的にも益々上がっていきますので、全体部会の中でいろんな形で出てきて、そのときには是非、属する部会以外のことにも調べていただいて、ご指摘いただきたいと思えます。今ある用意できる資料を、集められる範囲で、事務局をお願いしていいのですね。可能な範囲で出してくれるということは。自分たちで調べるのですが、手持ちで入手できるもので、勉強の材料として部会に出してくれということは、ある程度可能な範囲でやり取りをしていただきたいと思えます。貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>司会進行役である私のほうが、圧倒されるような思いで、部会の報告とご発言の言葉に、ご自分たちでやって、つかんできていることですから迫力が違うというか、ポンと出てきた資料についてやるというのではなく、ご自分たちで問題点を見つけて、しかも活字として残しておいて、いろんな関連の問題も備わってくるということで、委員の方々の一人一人の迫力が違うなということであらためて思っております。</p>

4 その他

<p>会 長</p>	<p>それでは、その他になりますが、みなさま方から協議事項として何かございますでしょうか。</p> <p>委員のみなさま方から連絡事項等はございますでしょうか。部会の関係でも結構ですので、あればこの場でどうぞ。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>私ごとなのですが、最近、今までの河内自治会議の経緯をまとめる機会がございました。今までの事例を整理させていただき、自分の研究を活字で整理する機会をいただきました。河内自治会議のことを雑誌に書かせていただきました。せんえつながら、今後のみなさま方の会議、部会の参考資料としていただきたく、今までの経緯を資料からまとめて、そこから見えるようなことを、簡単に3点ほど指摘させていただきました。よろしく願いいたします。私にとっても、大変ありがたいこととございます。</p> <p>事務局から何かございますでしょうか。</p>
------------	---

事務局

事務局からみなさま方にご連絡いたします。みなさまにお配りしている資料の中に、上河内・河内地域のうつのみや百景募集ということで、パンフレットを資料として入れさせていただいております。実は、4月にもみなさま方には一度ご紹介をして、河内地区のいいところ、素晴らしいところがありましたならば、是非、ご応募してくださいという形でご案内をさせていただきましたが、また締め切りが間近になりましたので、市の都市計画課から、依頼がありましたので、再度、みなさま方にご案内をさせていただきたいと思っております。

また、ご応募していただいた方には、記念品が出ますので、再度、ご案内をさせていただきたいと依頼がありました。

是非、みなさま方に、ご応募のほどよろしくお願ひいたします。

もう一つですが、11月13日に合同視察発表会を行いました。ご出席いただけなかった方には、お帰りの際に資料をお渡しいたしますので、お持ち帰りいただきたいと思っております。

また、次回の自治会議につきましては、来年の1月に開催を予定しております。詳しい日程につきましては、みなさま方にご案内をお出ししますので、よろしくお願ひいたします。

事務局からは以上でございます。

会長

ありがとうございました。

是非、うつのみや百景に、河内自治会議のメンバーからおくさずに、どんどんご応募してください。大変素晴らしいことなので、こういう形で我々もリードしていきたいという思いもありますので、よろしくお願ひいたします。

自治会議の次回が1月ということで、会議の回数が限られておりますが、これだけ部会が充実、意欲的、積極性、それから調査力ということで進んでおりますと、自治会議の回数を補って、あまりあるような形でうまくリンクして進んでいるような感じがいたします。

私も1月までボーとしているのではなくて、先日も意見交換会でもお話したのですが、宇都宮市にとって河内地区がどのような位置づけで、どういう存在なのか、河内地区にとって宇都宮市とは、どういう存在なのか、お隣の上河内地区と一緒に、自分の可能な範囲で考え続けて、入手可能な範囲で資料を取り寄せたいと思っております。

是非、次回の1月に、また部会の成果を聞かせてもらいまして、そして、次へのステップへと進んでいきたいと思っております。

本日は、みなさまのご協力のおかげで、会議が滞りなく、非常に濃密な内容で進めることができました。どうもありがとうございました。みなさん、本日は、どうもお疲れ様でした。